



令和6年度
坂戸市研究発表

「生徒が一人残らず50分間学び
続ける授業づくり」

坂戸市立住吉中学校

1 学校の概要 (1) 学校教育目標

■ 学校教育目標

「優しく 賢く 逞しく」

■ 生徒数

	1 学年	2 学年	3 学年	特別支援学級	計	県費教職員数
生徒数	1 6 6 名	1 5 5 名	1 8 6 名	1 6 名	5 2 3 名	3 3 名
クラス数	5 クラス	4 クラス	5 クラス	4 クラス	1 8 クラス	

1 学校の概要 (2) 求められる教育

求められる教育

急速なグローバル化の進展、デジタル技術の発展など、社会は急激に変化するとともに、国際情勢の不安定化、頻発化する自然災害など、将来の予測が困難な時代となっている。一方で、新型コロナウイルス感染症は、私たちの行動・意識・価値観に変化をもたらし、デジタル技術の活用を飛躍的に拡大・浸透させるなど、新たな社会生活への変革が進む契機になった。このような先行き不透明な時代において、力強く、心豊かに生きていくためには、主体的に行動できる力や多様な人々と協働する力とともに、自ら切り拓くことのできる力を育てていくことが教育に求められる。



目指す学校像 「生徒にとって将来を生き抜くために、必要な力を育成する学校」

1 学校の概要 (3) 目指す学校像

目指す学校像「生徒にとって将来を生き抜くために、必要な力を育成する学校」



(1) 生徒一人一人を大切にし、学習することが楽しい学校

(2) 心和む温かな人間関係を感じられる学校

(3) 安心・安全で規律ある学校

(4) さわやかな挨拶が交わされる学校

(5) 生徒が主体的に学校行事に取り組む学校

(6) 望ましい部活動が展開される学校

(7) 自分の生き方を考え、将来像を創り出す学校

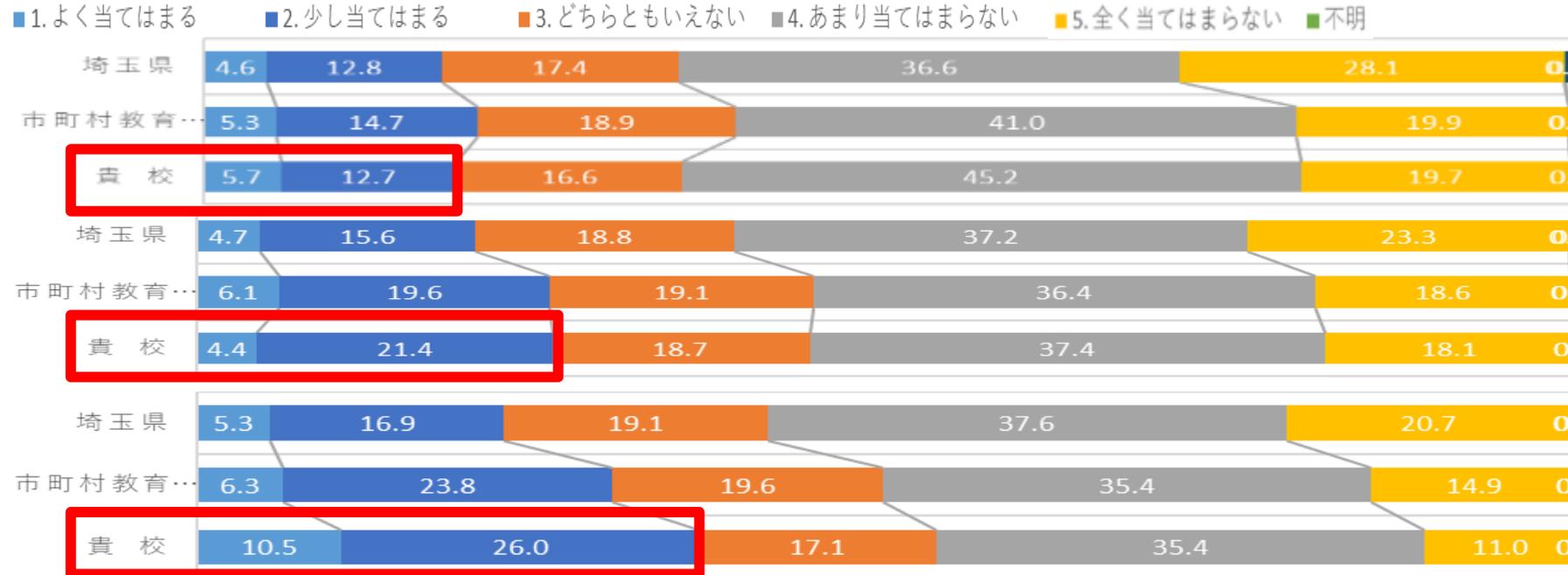
(8) 生徒の「良さ」を語る学校

(9) 保護者・地域の人が子供を通わせたいと、通わせて良かったと思える学校

(10) 教職員が勤めて良かったと思う学校

1 学校の概要 (4) 生徒の実態 R5年度県学調より

(2) カ 授業の内容が難しいときは、やらずにあきらめるか、簡単なところだけ勉強する



「1よく当てはまる」「2少し当てはまる」の合計が、1年生は市・県と同程度。2年生は県より5.5%高く、3年生も県より14.3%高いので、**学年が上がるにつれて、授業をあきらめる生徒が増える傾向にある。**

2 研究主題 (1) 坂戸市の方針・取組

子ども一人ひとりが生き生きと学ぶ授業を目指して
～質の高い学びをつくり、誰一人取り残さない教育の推進～

坂戸市教育委員会 令和5年4月

【坂戸市が目指す児童生徒の姿】(第7次坂戸市総合計画より)

自ら道を切り拓き、社会で自立する「生きる力」を身に付けた児童生徒

日々の授業を充実させ、2つの柱で児童生徒の育成を目指します！

心の教育

学びづくり

【心がつながり、安心して学べる授業】

- ・聴き合い、学び合う関係づくり
- ・認めて褒めて伸ばす教師の視点づくり

【認め合い支え合う集団の育成】

- ・お互いの意見を尊重し合える集団づくり
- ・安心して生活できる居場所があり居心地の良い学級づくり

不登校やいじめなどの未然防止

【「主体的・対話的で深い学び」のある授業】

子どもが興味関心をもち、深い学びを促進する課題を提供し、他者と協働する授業づくり

【生きる力につながる能力の育成】

- ・知識・理解、課題発見・解決力や思考力・判断力・実践力(行動力)の育成
- ・他者と協働する力の育成

児童生徒の確かな学力の向上

「確かな学力」とは・・・？

知識・技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力

《大切にしてほしいこと》

(1) 授業づくり

①深い教材研究

- ・教材について深く学び、教科の専門性を高める。
- ・深い学びに繋がる魅力的な課題を提供する。
→協働する場面・方法(ペア・グループ学習を取り入れ、子どもの学習活動時間を確保する。)

②教師の役割の明確化

- ・教師はつなぎ役
→子どもの学ぶ姿を良く観て学びをつくる。子ども主体の学習づくり。
→「聴くこと」→「繋ぐこと(子ども同士、子どもと教材)」→「戻すこと」に徹する。
→子どもの様子を常に見取りながら学びを深めていく。

(2) 教師の同僚性

- ・経験や立場を超えて教師同士相談できる関係を築く。
- ・授業を見合い、学び合うことでお互いを高め合う。

《学びの機会》

- ・学びづくり研修会(旧学び合い研修会)
- ・学校指導訪問
- ・各種年次経験者授業研究会
- ・校内授業研究会 など



坂戸市教委基本方針

子供の学びと成長の支援

- 一人一人を大切に
- 「学び」を重視
- 学校・家庭・地域が連携・協働

2 研究主題 (2) 研究主題・仮説

研究主題 「生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくり」



仮説①

聴き合い、学び合う関係をつくることで、生徒は50分間学び続けることができる

仮説②

教師が生徒の学びを見取る目を養うことで、生徒は50分間学び続けることができる

2 研究主題 (3) 研究の柱

研究主題 「生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくり」

① 授業研究

- ・ 教師が生徒を見取る目を養う
- ・ 授業を見合い、お互いに高め合う

仮説②

② 学びづくり

- ・ 4人グループで聴き合い学び合える教室環境をつくる
- ・ 教師の授業改善

仮説① 聴き合い、学び合う関係
仮説② 教師が生徒を見る目を養う

③ 朝鑑賞

- ・ 生徒の発言を認め合う雰囲気をつくる
- ・ 教師が生徒の発言をつなぐ力を磨く

2 研究主題 (4) 指導者

研究主題 「生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくり」

① 授業研究

- ・ 教師が生徒を見取る目を養う
- ・ 授業を見合い、お互いに高め合う

② 学びづくり

- ・ 4人グループで聴き合い学び合える教室環境をつくる
- ・ 教師の授業改善

③ 朝鑑賞

- ・ 生徒の発言を認め合う雰囲気をつくる
- ・ 教師が生徒の発言をつなぐ力を磨く

学びの共同体研究会スーパーバイザー・根岸康雄先生
麻布教育研究所・永島孝嗣先生
埼玉大学教育学部教授・北田佳子先生

武蔵野美術大学教授・三澤一実先生

3 組織

校内研修 (主：教務主任)

(年間研修計画は教務主任)
(各分掌担当が企画・立案・実施)
(時間の確保は、教務主任に相談)

〈毎月1回の校内研修〉

研修テーマや内容は、安全教育・健康教育・人権教育・生徒指導・教育相談・情報教育(ICT)・特別支援教育や、学校評価等々を実施

研究部 (主：研究主任) 『授業研究・学びづくり・朝鑑賞に特化した部会』

(部会メンバー：校長・教頭・教務主任・各学年1名ずつ(研究主任含む)の推進教諭)
(研究部会運営は研究主任) (研究部会を時間割に組み込み、毎週実施)
(研究部で研究協議・全体へ発信・全教員参加の毎月の授業研究の実施と運営)

〈本校の生徒の『学び』につながる教育推進の心臓部〉

授業研究・学びづくり・朝鑑賞

- 校内研修は、教務主任が担当した。
- 学びづくり及び朝鑑賞の授業研究は、研究部が担当した。
- 毎週水曜日4校時に研究部の会議を行い、授業研究や研究協議の在り方、指導者からの指導をふまえた今後の学校研究・学校づくりについて話し合った。

研究部

- 授業研究・学びづくり・朝鑑賞についての研究、発信
- 毎月の校内授業研の実施運営
- 指導者を招いての授業研究の実施運営
- 学校生活アンケートの実施、分析

ICT推進部

・ 学びづくりにおける効果的なICT情報の発信やその活用の発信

朝鑑賞部

・ 朝鑑賞の絵画ローテーション表作成や、朝鑑賞の教育効果等の発信

全教員

- 毎日の授業での「学びづくり」の挑戦
- 毎週1回の朝鑑賞への挑戦
- 毎月の校内授業研究での教員同士協働の学び
- 指導者からの学び

『子供の学びの事実』を見取る訓練と、その力を生かした指導力・支援力の向上

- ・ ファシリテーション能力の向上
- ・ 受容的・共感的言葉がけの向上
- ・ 生徒の気持ちを察する教員の感受性の向上
- ・ 温かい言葉力の向上

4 授業研究 (1) 目的

① 教師が生徒の学びを見取る目を養うため

- 「目の前の子どもが学んでいない。どうしよう？」 悩みがあるから授業が変わる
- 「目の前の生徒が学んでいるのか？いないのか？」を知るために、生徒の学びを見る専門的な目を磨くことが必要
- 「自分の授業では」「一人で見に行っても」「一部の時間だけ見ても」見る力は伸びない

② 授業を見合い、教師がお互いに高め合うため

- 見る人の価値観によって、何をどのように見るか異なる
- 授業研究直後に研究協議をすると、見る力が伸びる
- 授業づくりの失敗談を職員室で話せる環境づくり = 同僚性の構築

4 授業研究 (2) システム

- **毎月1回（できる月は2回、8月を除く）実施**
- 焦点授業のクラスを決め、勤務時間内に行う
- 授業研究（50分）の直後に研究協議（30分）を行う
- 授業研究の日は、参観者の生徒の学びを見取る目を養う日と位置付ける
- 指導案は、用意しない
- 座席表は、担任が用意する
- 授業者は、本校在籍の長い順からあいうえお順に行う
- 本校1年目の教員には、観察と協議の機会を保障するため、1周目の授業者にならない
- 授業者は、朝の職集で単元名と参観のポイントを先生方に説明する
- 研究協議後、参観者が生徒の学ぶ姿から学んだこと（生徒の名前を必ず出して、学んだことを記す）を、振り返りシートに記入する

4 授業研究 (3) 生徒の学びを見取る目

- 見るとは、50分×40人（クラスの数）＝2000区画
- 例えば、5分付近につらそうな顔をしているのは誰か？何人か？
 - 気づける教師なら、その部分をカットできる
 - 自分で授業を変えたいときは、学んでいない子がたくさんいるとき
- どの子が何を頼りに課題とつながっているのか？
 - 資料、友達？
- 何の助けがあれば、つながれるのか？
 - できていないところを教師がサポート

4 授業研究 (4) 年間計画

R5年

	学期	月	日	曜日	授業者	教科	備考
1	1	4	25	火	原中先生	体育	
2		5	25	木	宇佐美先生	社会	
3		6	22	木	大室先生	理科	
★		7	4	火	安形先生	理科	学びづくり研修会の協賛・出席者
4		7	14	金	池田先生	英語	
5	2	9	28	木	岩田先生	英語	
6		10	30	月	水原先生	理科	
7		11	17	火	平野先生	国語	
★		11	28	火	水上先生	国語	学びづくり研修会の協賛・出席者
8		12	4	月	橋本先生	体育	
9		1	19	金	一智堂先生	美術	
10		3	2	1	火	石塚先生	数学
★	2		6	火	池田先生	英語	学びづくり研修会の協賛・出席者
11	3		12	火	水島先生	数学	

R6年

	学期	月	日	曜日	授業者	教科	備考
1	1	4	26	金	荻谷先生	国語	
2		5	15	水	鷗上先生	英語	パワーアップ研修会を兼ねる
★		6	18	火	大室先生	理科	学びづくり研修会の協賛・出席者
3		6	25	火	宮口先生	体育	
4		7	3	水	持田先生	社会	
5	2	9	4	水	兼平先生	技術	
6		9	26	木	玉城先生	総合	
7		10	10	木	岩田先生	英語	パワーアップ研修会を兼ねる
★		10	22	火	水原先生	理科	学びづくり研修会の協賛・出席者
8		11	27	水	宇佐美先生	社会	
9		12	18	水	安形先生	理科	
10		3	1	10	金	赤池先生	家庭
11	1		23	木	池田先生	英語	パワーアップ研修会を兼ねる
★	2		4	火	水島先生	数学	学びづくり研修会の協賛・出席者
12	2		19	水	一智堂先生	美術	
13		3	7	金	平野先生	国語	

指導者を招いた
学びづくり研修会
 を含めると、
 R5年度は14回、
 R6年度は16回
授業研究を実施

4 授業研究 (5) 授業研究 R5年度・国語・水上先生

課題 あなたは、ALTの話した内容を、いろいろな人に伝えたい。英語が苦手なので、AIを使って日本語に翻訳しました。実際に伝えるとき、どのような伝え方の工夫をしたらよいですか。「日本語の種類」という観点で考え、200字以内で書きなさい。

ねらい 和語・漢語・外来語を理解する。

○ALTの話した内容

There's a chorus performance tomorrow.
The venue is the hall in the center of the Civic Center.
It starts at 5:00 PM.
Details about venue rules will be shared later.
Minors are welcome!
Please come and join us!

↓

○AIによる日本語への翻訳

明日、コーラスのパフォーマンスがあります。
場所は市民センターの中央にあるホールです。
開演時刻は午後5時です。
会場のルールに関する詳細は後日共有されます。
未成年者も歓迎です！
ぜひ参加してください！

和語・漢語・外来語 1/1

【今日の最終課題】
あなたは、ALTの話した内容を、いろいろな人に伝えたい。英語が苦手なので、AIを使って日本語に翻訳しました。実際に伝えるとき、どのような伝え方の工夫をしたらよいですか。「日本語の種類」という観点で考え、200字以内で書きなさい。
★「日本語の種類」について考えてみてください。

いろいろな人へ友達・幼稚園児・お年寄り・市役所の人

★2 いろいろな人に伝えるときの具体的な伝え方の言葉を書こう。

○市役所の人に

「明日、

○幼稚園児に

「明日、

○お年寄りの方に

「明日、

★翻訳課題 伝え方の工夫について、「日本語の種類」という観点で考え、200字以内で書きなさい。

4 授業研究 (6) 研究協議

第6回・研究授業について

- 1 実施日 9月4日(水)
- 2 授業者 兼平先生(2年3組 技術)
- 3 場所 技術室

研究協議会

<次第> 1 研究協議(司会:千葉)

【テーマ】「今日の生徒の学ぶ姿から、教師自らが学んだこと」

(1) グループ協議 15分

・司会などはなしで、自由にテーマについて話し合ってください。

(2) 全体協議 15分

・「私は、〇〇さんの姿を見て、△△を学んだ」、「〇〇さんは、△△することで学んでいた」など、生徒の名前を出して、先生自身が学んだことを発表してください。1人30秒以内。

A	B	C	D	E	F	G	H
岩田	水原	水島	橋本	小峯	千葉	二階堂	樋口
安形	池田	石塚	西村	持田	平野	菅頭	堀之内
富口	玉城	福島	宇佐美	図師	鴻上	兼平	大室
金子			荒谷	赤羽	久田	廣瀬	森田

(3) 授業者より 2分

2 諸連絡

3 雑談タイム 兼 大問検討会(教科の先生や参加したい方など)

★連絡

- ・校務パソコンを持って来てください。今日の振り返りを技術室で書きます。
- ・雑談タイム & 大問検討会 をまたやってみます!

- 研究協議は、授業研究直後30分間実施
- グループ協議は、「今日の生徒の学ぶ姿から、教師が学んだこと」をテーマに、司会などは無しで、自由にテーマについて話し合う
- 全体協議で、生徒の名前を出して、教師自身が学んだことを一人30秒程度で発表する
- 話し合い、発表することで、授業者・参加者が見取れなかった生徒の事実を補完し合う
- 研究協議後に「雑談タイム」を設け、日々の授業の悩みを話し合う



4 授業研究 (7) 教師の声

- ○○さんは休みがちですが、グループの仲間と会話しながら進めていました。「もう15分経ったよ」と言っていて、いつもより集中していたのかと思いました。自分の授業では、支援ができていない。と感じました。
- 4人グループのメリットを感じました。○○さんのように、あまり学習に意欲をもてない生徒にとっては、周囲からのサポートをもらえることは良いことだと感じました。その一方で、教師からの指示や全体に伝えたいことを伝達する難しさも感じている。このバランスはとても大切であると感じ、どのようにしていくことがいいのか答えは出ない。
- 意味調べをしているときに比べ、作文を作っている時はタブレットを使っている人が減った。○○さんはbingoから英単語を探していた。文を作る時もタブレットを使えばすぐに文を作って、余った時間に発音の分からない単語を調べて聞いて覚えるなどタブレットの使い方次第で学びを繋げることができる可能性を学んだ。
- 簡単にできる子でも、○○さんのように意欲があれば自分なりに学びに向かうことができる。答えが明確にある教科の教員である私からすると、文法の間違いを正すのは難しいと思ったのですが、そういうときこそスクールタクトを使えば、全員をみとることができ、フィードバックもできるので効果的だと思いました。

5 学びづくり (1) 学習指導要領

育てたい力「主体的・対話的で深い学び」を基盤にすべての子どもの「生きる力」を育てる

主体的・対話的で深い学び

- 学習は他者によって成立しない = 教え合いではない
 - 学習とは自己（主体的）と他者（対話的）、教材（深い学び）が必要
- 自分のペースで学習し、必要なときに他者と関われる環境・関係が大切
複数の教材があり、他者と関わることで深い学びにつながる



そのために住吉中では、2つのことに取り組んだ

教室環境

教師の授業改善

5 学びづくり (2) 教室環境

① 4人グループ

- 1人で考え続けるために4人グループをつくる
→ 分からないときに聞く、互いにノートを見合う関係・環境
- 教師が生徒を見やすくなる
- 4人グループが標準隊形（朝の会から帰りの会まで）
- 男女市松模様（クロスで交流でき、男子2人・女子2人をさける）
- グループ間の移動は行わない（1人になるリスクを防ぐ）
- 授業方法は、4人グループにこだわらない

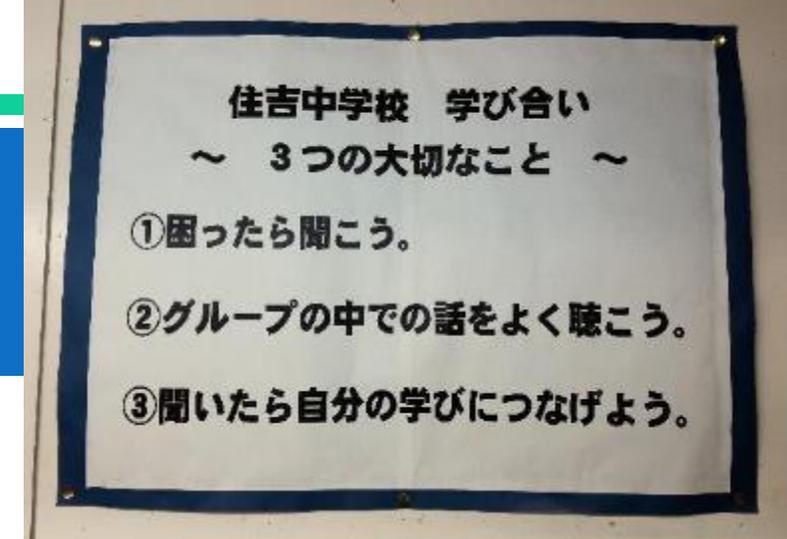
5 学びづくり (2) 教室環境

② 3つの大切なこと

- 教師は、「3つの大切なこと」を意識し、授業の中で生徒を大切にする
 - 学校生活のほとんどは授業
 - 困っている生徒、課題が終わってしまった生徒を大切にする
- 生徒は、「3つの大切なこと」を意識して授業に参加する
 - 「これってどういうこと？」などの生徒のつぶやき（探索的会話）が聞こえる教室



授業づくりが上手くいくと、教室づくりも上手くいきやすい



5 学びづくり (2) 教室環境

③グループに辞書を1冊用意

- 図書室の辞書を各教室に7冊ほど配布
- 家に辞書がある人は持ってきてもいい
- 授業で分からない言葉を調べる

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

住吉中学校・授業改善ポイント

①全体に教える時間は5分間

②困っている生徒に対して1分以内に支援に行く

③課題とねらいをずらす

④資料づくり

⑤ノートで授業をする

⑥辞書とタブレットの併用

★職員の共通理解

学校研究としてポイントは示すが、強制はしない。授業方法は形式化せず、これを参考に先生方個人で考える。生徒を見て授業方法を判断できる教師でいる。

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

①全体に教える時間は5分間

- 自分のペースで学ばせる = 生徒の自学自習を保障
- 授業の最初から4人グループにして、生徒のスイッチを入れる
- 教師が一斉指導をしないから、生徒の困り感・分からなさに気づける
- 教師が話すのは授業の中間 = 2回にわける、生徒の学びを修正するため、学びを深めるため
 - 中間なら、グループで「先生が言っていたことってどういうこと？」と確認できる
- 分からない言葉を教師が説明しようと思わない

※悩み：教えたいたいことがあり、5分間では足りない

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

②困っている生徒に対して1分以内に支援に行く

- 声かけをして、生徒と生徒、生徒と教材をつなげる
- 個人・グループの学びが止まっているとき
 - 「どこで困っているの？△△で困っているのか。資料1の□□を見たら？」
- 終わってしまい何もしていない生徒に気づいたとき
 - 「★★と書いてあるけれど、その根拠はどこに書いてあるからそのように思ったの？グループ内で説明してみてよ」 ※悩み：学んでいるか・いないかの区別がつけにくい、支援の仕方
- 全体の学びが止まっているとき
 - 「★★について、今日の授業は分かってほしいんだけど、★★の意味はどういうこと？グループ内で説明し合ってみてよ。」

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

③課題とねらいをずらす

※悩み：森の課題づくりの難しさ、ねらいを確認せずにやらせっぱなしになりがち

- 上位・下位の生徒も同じ課題に取り組ませたい
→ 同じ課題だから他者と協働できる（他者の書いたものを見ようとする）
- 課題の中でねらいを学ばせる = 未修事項を学ぶために演習事項を学ぶ
例) 理科 ねらい：ダニエル電池の原理（電池の仕組み）
課題：亜鉛と銅の間にある膜は何のためにあるのか？
→ なぜ膜が必要かは分からないけれど、亜鉛がとけやすく、銅がとけにくい結果、亜鉛の電子が銅へ流れていることはわかる
- 授業の最後にねらいの達成を確認するため、小問を行う
- 住吉中では課題を「森の課題」、ねらいを「木」としている

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

④資料づくり

- 授業で教えたいことを資料で示す
- 書き込みできる紙資料 ※一人1枚
- 資料は3種類

※悩み：誰もがわかる資料づくりの
難しさ、著作権

- A 先生が授業で話している感じの資料（参考書のコピー）
- B 教科書を翻訳した板書の資料・ヒント（教師の自作・卒業生のノート）
- C 高いレベルの資料（高校、大学の資料）

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

⑤ ノートで授業をする

- ワークシートは、教師が分かりやすい順番でつくりがち
 - ワークシートは、自分のペースで学ぶ授業にならない
 - 進度に違いが生まれ、できない子がやる気を無くす
 - ミニ先生、丸写しが生まれやすい
- 人にとって分かりやすい順番（学びの経路）は異なる
- ノートに分かったこと、分からなかったことを書かせる
- ノートは備忘録

※悩み：教師が効率的に進めるにはワークシートが有効的

5 学びづくり (3) 教師の授業改善

⑥辞書とタブレットの併用

- タブレットは、教師が用意した資料以上に生徒が調べたいとき
- タブレットを使いこなす能力は必要
- 技能教科では動画が大切

例) 体育・跳び箱の授業 「今跳べない高さ一段をどう跳ぶか？」

→ モンスターボックスの映像を見て、自分と何が違うのか考えさせる

※悩み：タブレットの手軽さ、利便性。辞書を持っていない家庭。辞書を引いて調べる習慣がない。

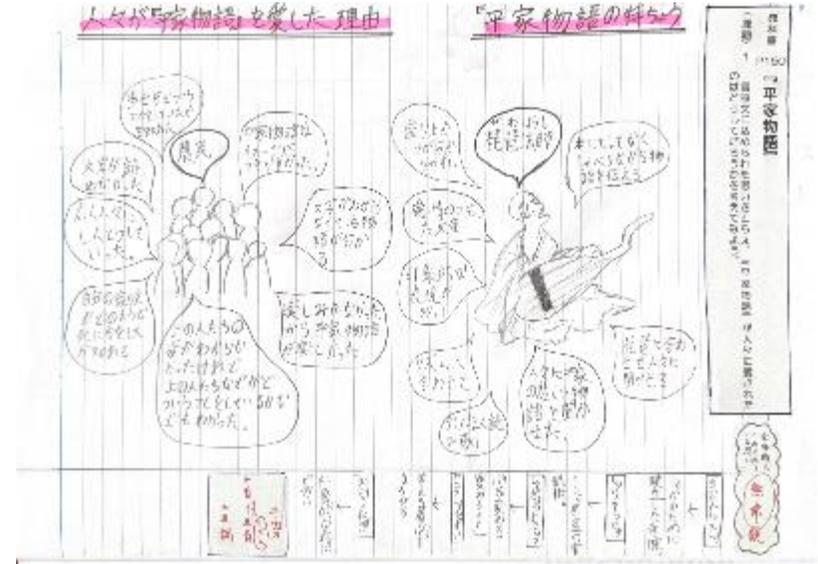
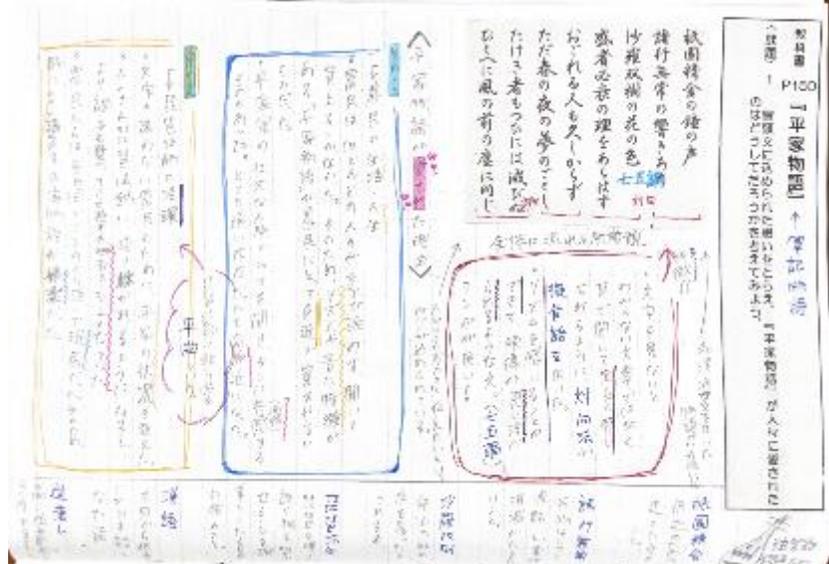
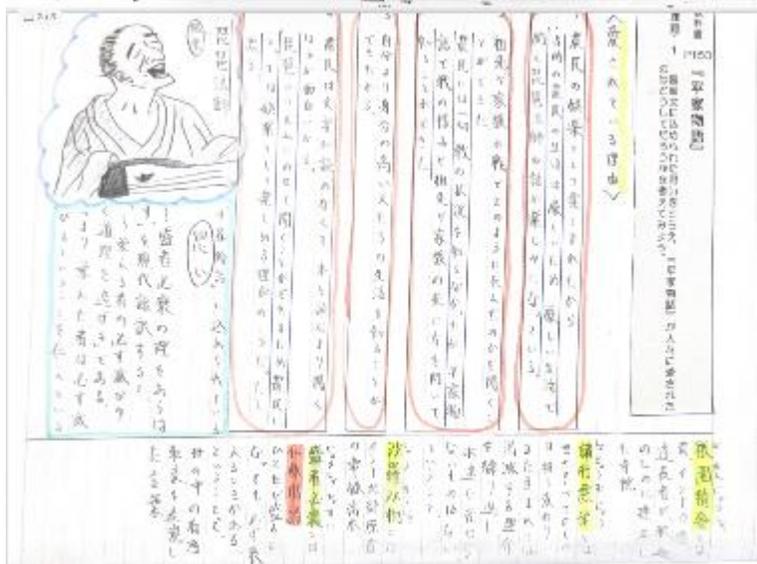
5 学びづくり (4) 研究部の方針

- **まず月1回以上、全員で授業研究をやってみる**
- **負担感がない授業研究のシステムをつくる**
- 悩みを話し合える場・環境づくり
- 授業研究の成果は5年後
- 学校研究として授業改善のモデルは示すが、強制はしない
 - 授業方法は形式化せず、モデルを参考に先生方個人で考える
 - 授業方法であるとしたら、全体に教える時間は5分間
- 生徒を見て授業方法を判断できる教師であってほしい

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ①国語

課題 冒頭文に込められた思いをとらえ、『平家物語』が人々に愛されたのはどうしてだろうかを考えてみよう。

ねらい 無常観をとらえるとともに、広く民衆に親しまれた理由を考えることで、『平家物語』の特徴をつかむ。



5 学びづくり (5) 各教科の取組 ①国語

(思考を深めたいとき)

別の視点からは考えられるかな？他の人はどういう捉え方をしているのだろうか？

(全体の学びが止まっているとき)

他クラスの子のノートを電子黒板に映しておきます。

(個人の学びが止まっているとき)

辞書や資料（動画・ワーク・教科書）などの別の手段からはせまれないかな？

(全体かつ個人の学びが止まっているとき)

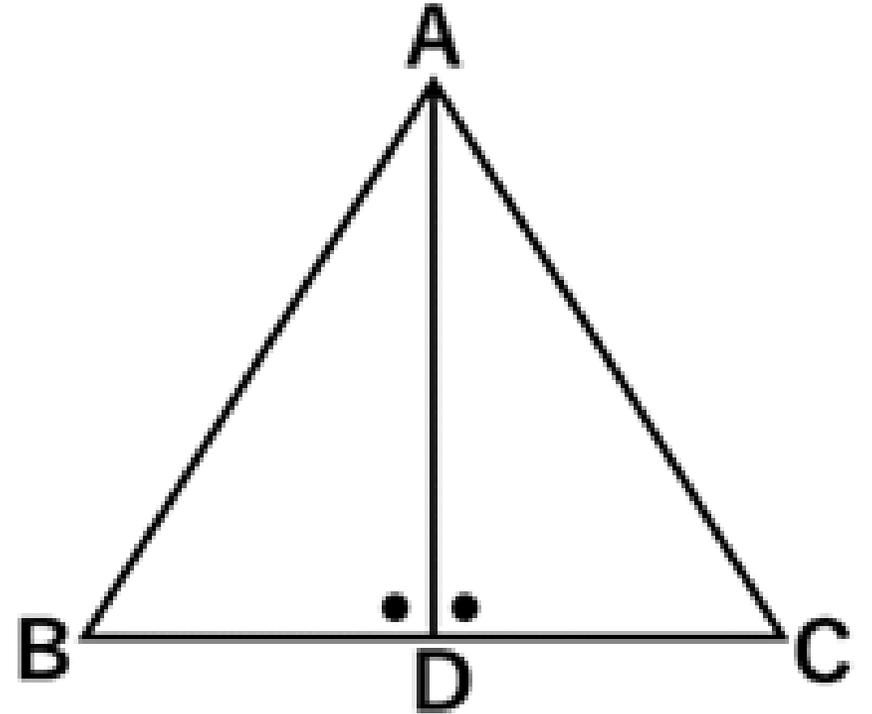
どこでお互いつまづいているかな？



5 学びづくり (5) 各教科の取組 ②数学

課題 垂線であることを証明しよう

ねらい 三角形の合同の証明をした上で、二等辺三角形の定理「二等辺三角形の頂角の二等分線は底辺を垂直に2等分する」を証明する。垂線の証明は、等しい2つの角の和が 180° であるからいえることを理解する。



5 学びづくり (5) 各教科の取組 ②数学

**(思考を深めた
いとき)**

他の人(隣・班
の人)はどの
う考え方をし
ているのだら
う? 教科書や
資料をもう一
度読んでみ
ない?

(個人の学びが止まっているとき)

教科書や資料をもう一度読んでみよう。
班の人に困っていることを聞いてみよう。

(全体の学びが止まっているとき)

〇〇さんはこういう考え方をしているよ～。という声掛けを全体にする。

(全体かつ個人の学びが止まっているとき)

どこでお互いつまづいているかな?
同じ部分でつまづいている子はいないかな?

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ③英語

課題 ALTのBenに向けて、日本の学校で使う・見られるものについて紹介しよう。

2 Things in Our School Life

カナダからの転校生のアンディーに、日本の学校にあるものを紹介しましょう。

・体操服 ・給食着 ・ぞうきん ・通知表 ・その他

例 Andy: What is *konaihoso*?

You: It's an announcement which we make in the broadcasting room at school.

Andy: Can I say happy birthday to my friend?

You: That's not a good idea. Private announcements are not allowed.



どちらかがアンディー役になろう。

Word Box

we wear in P.E. classes
we wear to serve school lunch
we use for cleaning
we get at the end of term



ねらい 既習の関係代名詞の目的格を使って、ものや人について説明する英文を書く。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ③英語

(生徒の学びが止まっているとき)

グループの中で聞いてみよう！みんなどんなことを書いているの？書きたいの？

(グループの活動が止まっているとき)

他のグループではこんな話をしたよ！みんなはどう？

(全体の学びが止まっているとき)

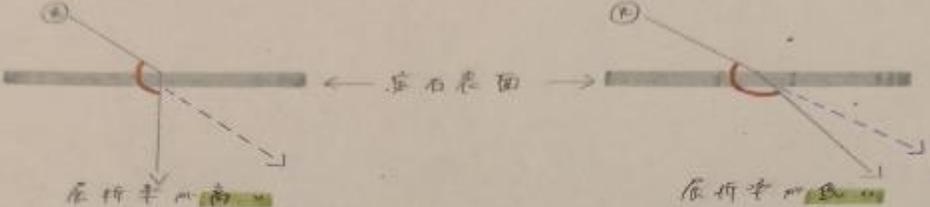
このグループではこんなことを書いてたよ！〇〇さんはこれをテーマに書いてたよ！（スクリーンにも写しながら）

(思考を深めたいとき)

他にも詳しく〇〇について説明を加えられないかな？

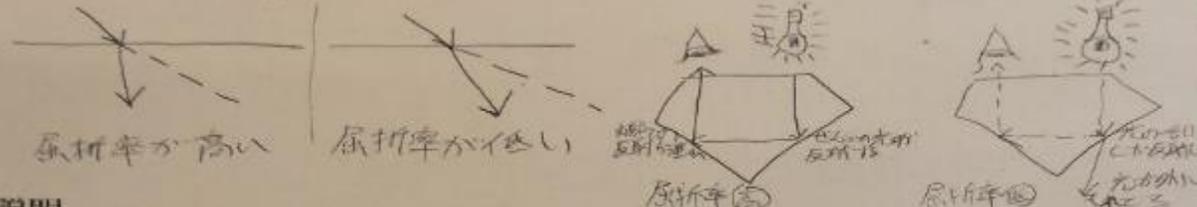
5 学びづくり (5) 各教科の取組 ④理科

課題 なぜ、宝石は光り輝いて見えるのか。 **ねらい** 光の屈折や全反射について理解する。
※理由を3人に説明しなさい。



説明

- 光は波、異なる物質に射し込むと反射する。屈折率が高い物質は、低い物質に比べて入射角が大きいと入射光も反射する。宝石の内部に射し込むと、光は多次反射と屈折と繰り返してはね返り、眼に入る。
- また、宝石に光が当たると、鏡のように角が曲がる。そのため、光は宝石の他の面に当たって、また鏡のように宝石の中で複雑に光が反射する。その結果、
- 入射した光が目に届いてキラキラして見える。
- 屈折率が高いと反射しやすいからキラキラして見える。



説明

- 光が宝石に入ると、宝石の内部で光の進む方向が変わる。光が宝石の中でさまざまな角度に曲がり、見る角度によって異なる輝きを見せる。宝石は滑らかだから光があたると反射する。だから明るく見える。宝石の中に光が通ると色ごとに分かれる。
- 物質に光が射し込むと、屈折率が折れ曲がり、その光を屈折させる強さを示したのが屈折率。ダイヤモンドは屈折率が2.4で高いから、ダイヤモンドは周囲からの光が差し込むと他の物質より大きく曲がるから光り輝いて見える。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ④理科

(個人の学びが止まっているとき)

グループの中で聞いてみよう!!今、悩んでいることが解決するかもしれないよ。

(全体の学びが止まっているとき)

このグループはこう考えているよ。(スクリーンに映す)。参考にしてみよう!!

(グループの活動が止まっているとき)

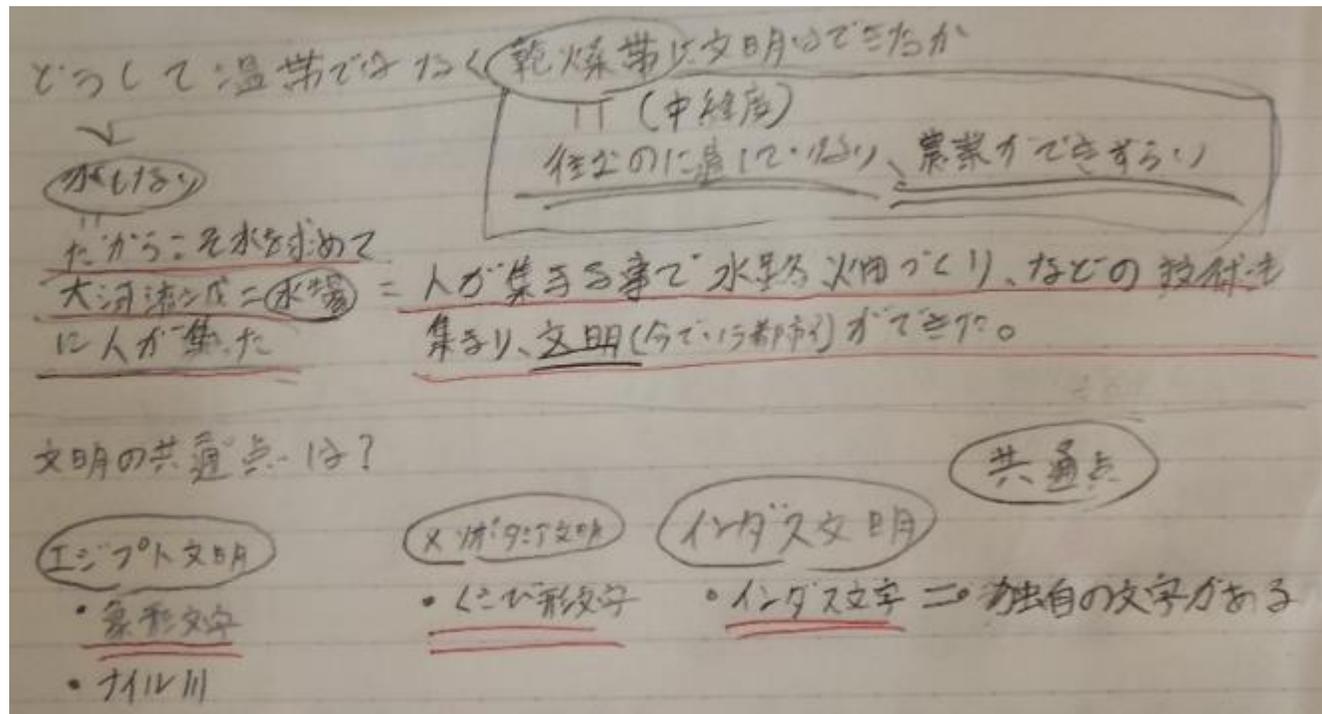
この実験(課題)について、今日の授業は考えてほしいんだけど、課題をもう一度グループ内で考えてみよう。

(思考を深めたいとき)

考察に●●と書いてあるけれど、何故そのように思ったの?グループ内で説明し合ってみましょう。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑤社会

課題 エジプト文明やメソポタミア文明、インダス文明を比較し、共通点を説明しなさい。また、これらの文明は温帯ではなく乾燥帯にできた文明である。その理由も説明しなさい。



ねらい 古代文明が発生した場所の共通点、その理由。また、それぞれの文明の文字、文化遺産などを理解すること。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑤社会

(個人の学びが止まっているとき)

□□で悩んでるんだね。隣の〇〇さんが□□についてよく書いてあるよ。〇〇さんのノートを見てみたら？

(思考を深めたいとき)

□□と書いてあるけれど、その根拠はどこに書いてあるからそのように思ったの？グループ内で説明し合ってみましょう。

(全体の学びが止まっているとき)

〇〇さんはこう書いているよ。(ノートを写真に撮ってモニターに映す) 参考になるね。

(ねらいを確認したいとき)

★★について、今日の授業は分かってほしいんだけど、★★の意味はどういうことですか？グループ内で説明し合ってみましょう。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑥音楽

課題 合唱祭に向けて、一体感のある合唱をつくろう！



ねらい 合唱に適した響きのある声で歌い、歌詞に込められた思いを聴き手に届けられるように表現を工夫する。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑥音楽

(個人の学びが止まっているとき)

この部分はどのようなイメージで歌いたい？この部分は〇〇さんが上手に歌っているから真似してみよう！

(思考を深めたいとき)

この部分はどうしてfが付いているのだろうか？作曲者はどこを一番聴かせたいのかな？

(全体の学びが止まっているとき)

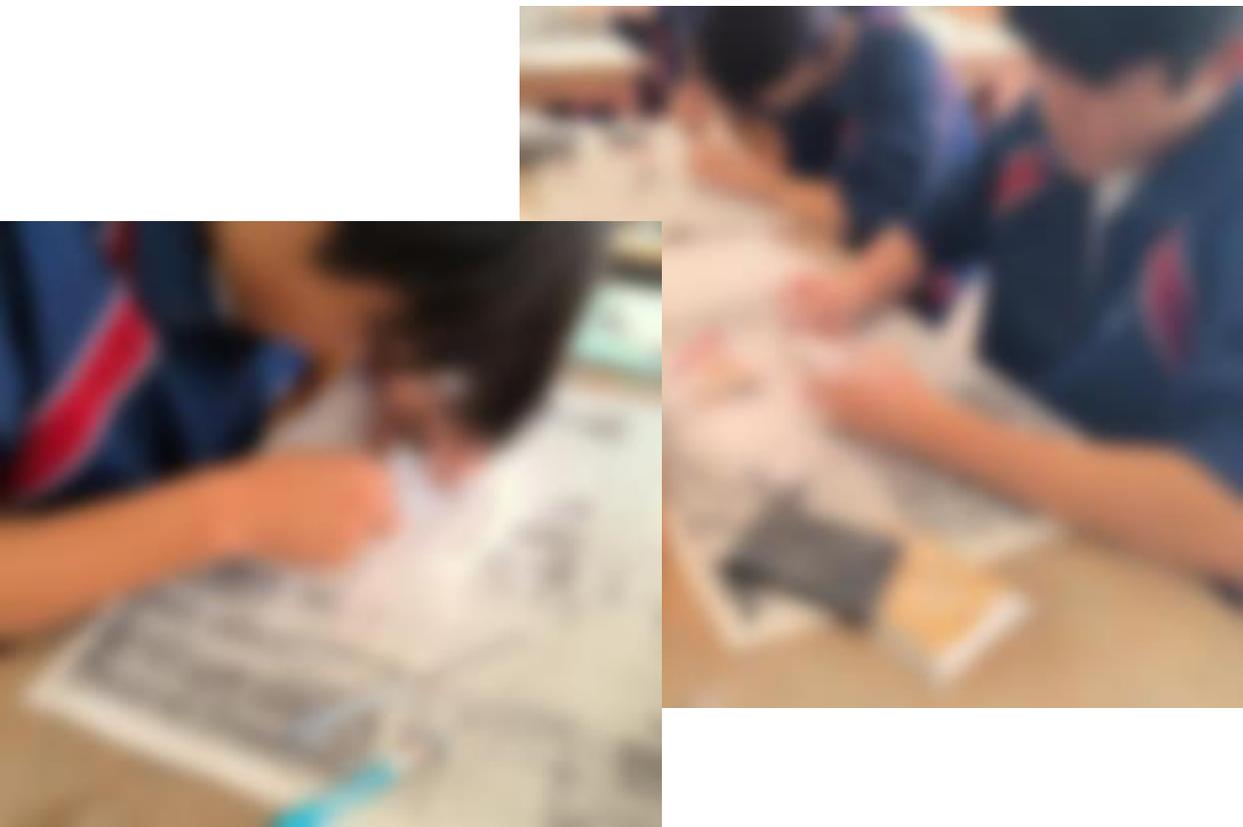
このフレーズを一回歌ってみよう！（歌い終わったら）今の歌ってみてどうだった？

(グループの活動が止まっているとき)

一体感を生み出すためには、みんなでそろえる必要があるよね。どんな準備が必要かな？

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑦美術

課題 『彫刻・輝け！住吉中のシンボルを作ろう』用具の使い方を理解し、表したいイメージを造形的に表現しよう。



ねらい

- ・安全に気を付けながら用具を意図に応じて使用することができる。
- ・表したいイメージから構想を練り、造形的に表現活動をする。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑦美術

(個人の学びが止まっているとき)

どのようにしていきたいのか言葉や絵に表してみよう。

〇〇さんはこのように道具を使っていたよ。(もしくは、~のように考えを広げていたよ。)

(全体の学びが止まっているとき)

手順を確認してみよう。もう一度プリントを見て伝えたい思いやイメージしていたことを確認しよう。

(思考を深めたいとき)

タブレットで調べてみよう。イラストでもいいよ。いろいろな見え方があるよ。(班の中で) 〇〇さんは△△についてどう考えますか？

(ねらいを確認したいとき)

刃の向きや使い方を意識してみよう。どんな形になったら思いが伝わるのか言葉にしてみよう。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑧技術・家庭

課題 次の画像を0と1で表しなさい

情報の技術(1)

デジタルの仕組み
目標
～デジタルとは何か理解しよう～
1年 組 番 氏名 _____

課題
次の画像をデジタル化するために0と1で表しなさい。

今日の手順

- デジタルゲームを行う。
やり方
(1) 表面を見ずに配られたカードをおでこに付ける。(自分はカードにどんな動物が描かれているかわからない状態にする。)
(2) 自分のカードの動物が何かを当てるためにグループの人に質問をします。グループの人は「はい」か「いいえ」の2択で答えてください。
(3) 何の動物が分かったら「この動物は〇〇ですか」と質問をし当たったら自分のカードを見てください。
- 配られた画像を0と1で表してください。紙に記入してください。

今日の資料
教科書 212～217
紙の資料

ねらい コンピュータでは情報を0と1で表していることを理解する。コンピュータ上で扱われる情報の特性や、コンピュータの能力を実感する。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑧技術・家庭

(個人の学びがとまっているとき)

分からないところはある？
資料のこんなところが参考になるか
もしれないよ。

(全体の学びが止まっているとき)

(比較対象などを提示して)こんな視
点で考えてみてもいいんじゃないか
な？

(思考を深めたいとき)

どうしてこうなると思った？
〇〇は違うのかな？

**(グループの活動が止まってい
るとき)**

どこまでできた？
次は何をしたらいいのかな？
確認して進めよう。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑨保健体育

課題 長距離選手の走り方を真似してみよう。
ねらい 長距離走に適した走り方のポイントを知る。
走り方の違いに気が付ける。



5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑨保健体育

(全体の学びの支援)

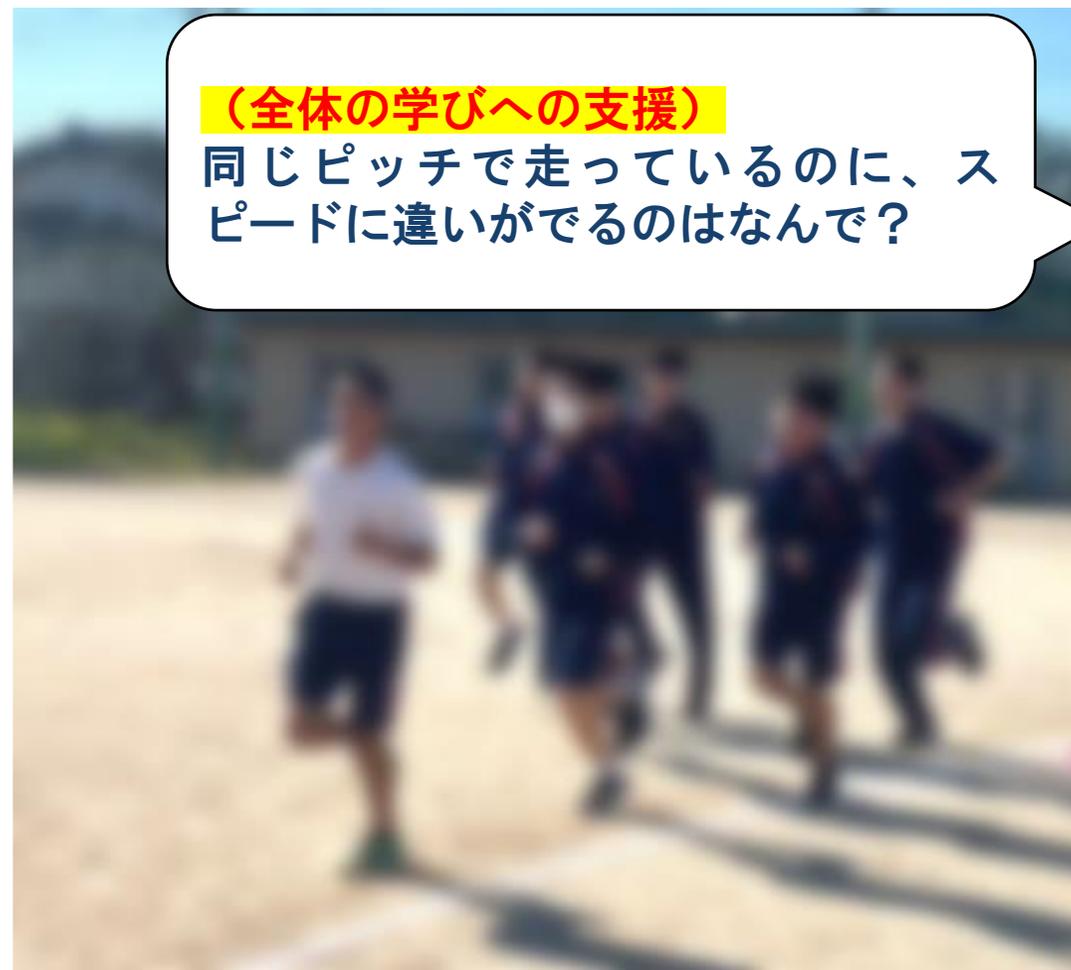
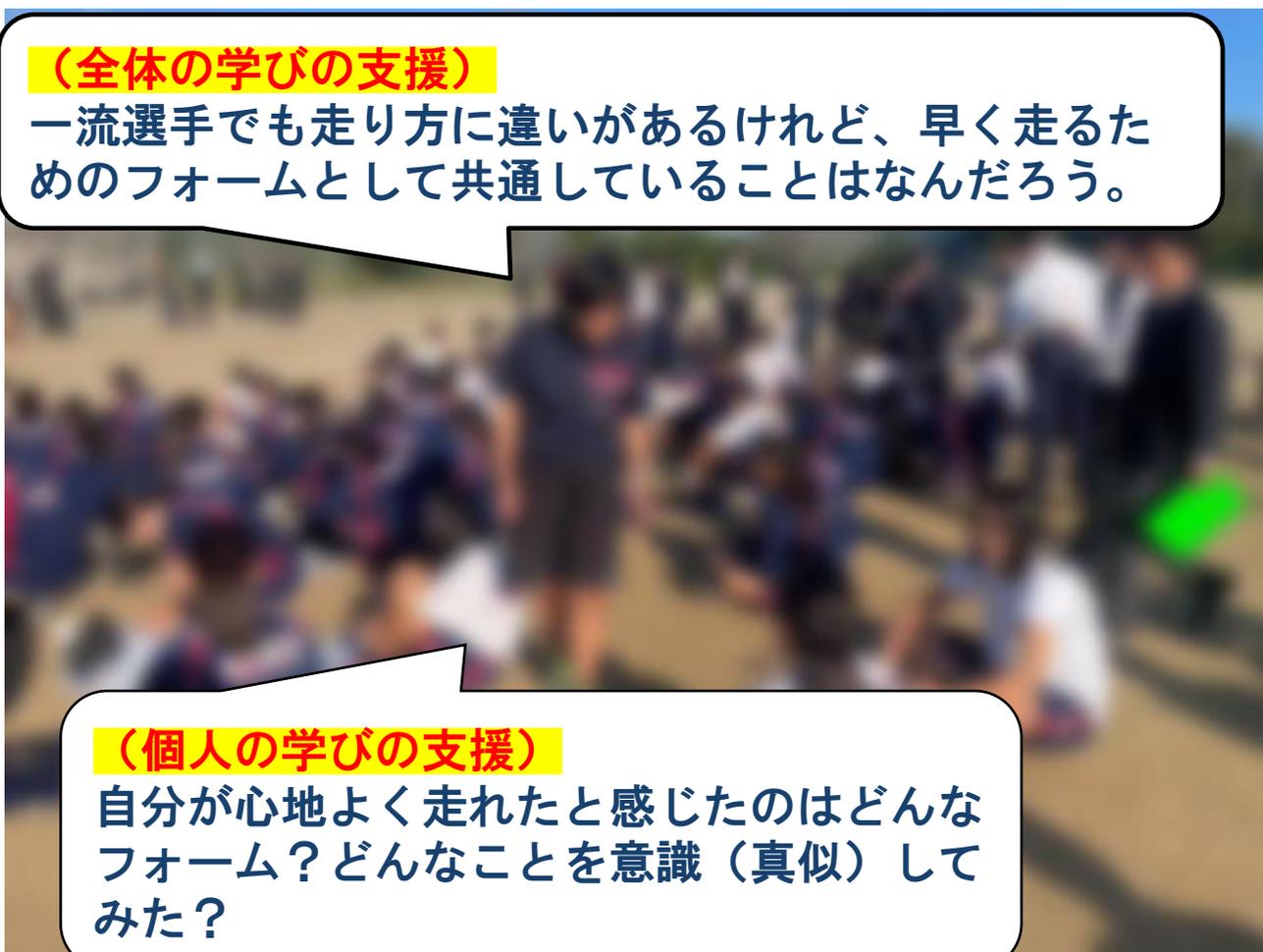
一流選手でも走り方に違いがあるけれど、早く走るためのフォームとして共通していることはなんだろう。

(個人の学びの支援)

自分が心地よく走れたと感じたのはどんなフォーム？どんなことを意識（真似）してみた？

(全体の学びへの支援)

同じピッチで走っているのに、スピードに違いがでるのはなんで？



5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑩総合学級

課題 自分好みのうどんをつくろう。

あなたにとっての、好みとはなんだろう。かたい？やわらかい？ それとも、ほそい？ふとい？ 自分好みにするためにはどうしたらいいかな？

レシピ	自分好みのレシピ
材料 小麦粉 100g 塩 小さじ2分の1 水 25ml	材料 小麦粉 g 塩 ml 水 ml
作り方 ①材料を量る ②材料をひとまとまりにする ③10分生地を休ませる ④袋に入れ、足でまんべんなく踏む ⑤めんぼうでのばす ⑥包丁で1cmはばに切る ⑦ゆでる(10分くらい)	作り方 ①材料を量る ②材料をひとまとまりにする ③ 分生地を休ませる ④ ⑤めんぼうでのばす ⑥包丁で cmはばに切る ⑦ゆでる(分ゆでる)

理想のうどんに近づけた？(はい/どちらでもない/いいえ)

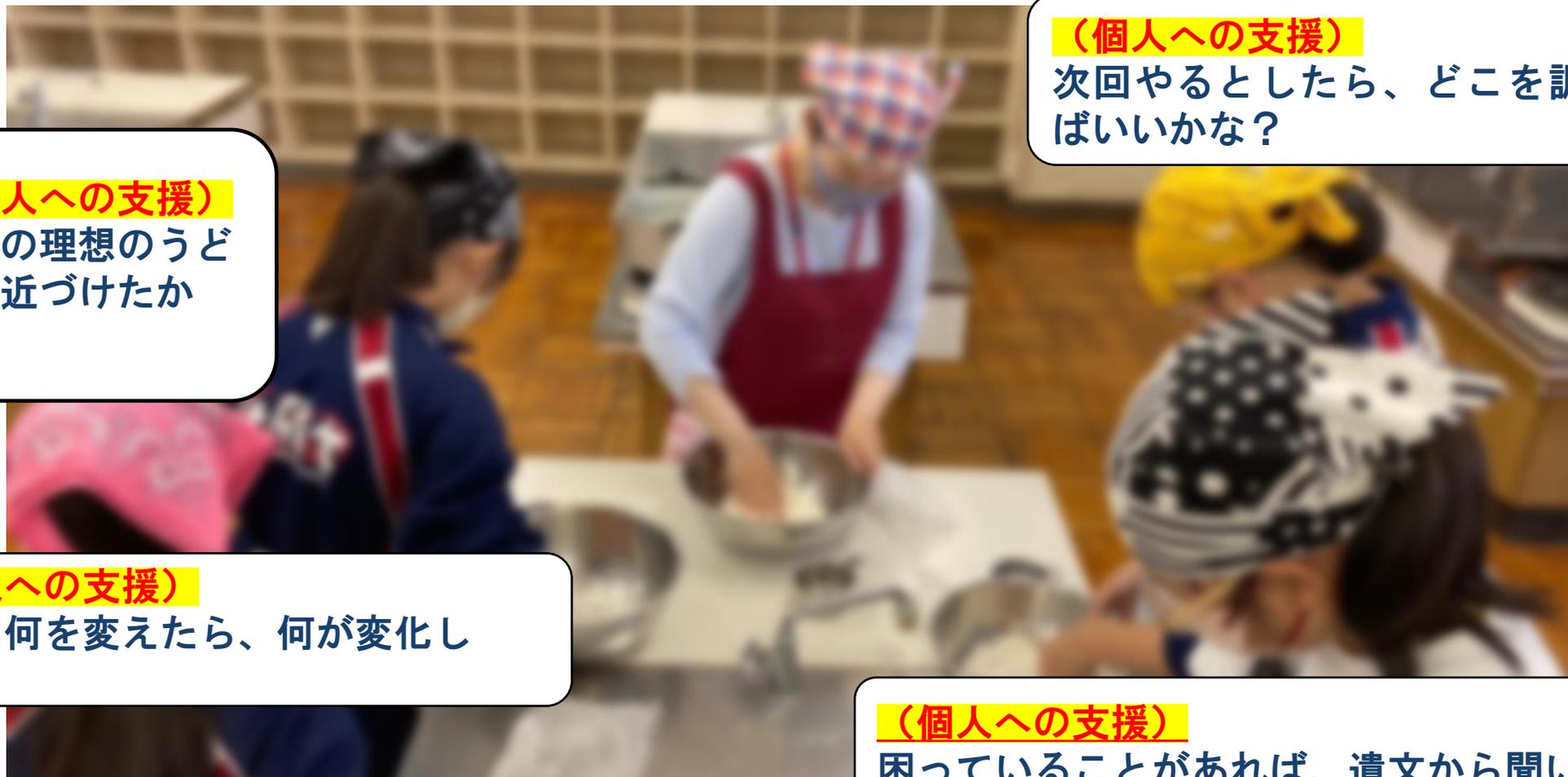
理由



課題 自分好みのうどんを作ろう

ねらい 自分好みに近づけるためにはどうすればいいか（分量・時間・調整）を考える。自分好みとは何か自己理解をする。

5 学びづくり (5) 各教科の取組 ⑩総合学級



(個人への支援)
自分の理想のうど
んに近づけたか
な？

(個人への支援)
前回と何を変えたら、何が変化し
た？

(個人への支援)

次回やるとしたら、どこを調整すれ
ばいいかな？

(個人への支援)

困っていることがあれば、遺文から聞いてみよう。

5 学びづくり (6) 生徒の声

- 自分にあったペースで進められてとても楽しくやりやすいと思う。
- 自分で考える力がついたり、周りの仲間と教え合ったりできて良いと思う。ただ、自分で考える授業だと理解できていない人や周りの仲間と話せないでわからないまま終わってしまう人がいるのが問題点だと思う。
- 先生が教えてくれたほうがわかりやすい場面もあるけれども、その代わりに学校だけで限らず、家庭でも自主的に勉強をすることが身についてきたと思う。
- 友達と協力したり自分で考える時間が増えて前より学習内容が頭に入る。
- 先生や仲間の支援を受けながらも、自分だけのノートがかけたり自分ですることなどが増えるのでいいと思いました。
- 意味がないと思う。資料を見て考えるは家でもやろうと思えばできるので、先生が豆知識とかも含めて教える授業にすることで、先生としての立場や生徒の知識がつき、応用問題に取り組む姿勢が高まると思う。応用問題が、答えがわからなすぎる問題が多いため。
- 時代が進んでる感じがして素晴らしいと思います。
- 自分が発表するのが好きなので、なんとも言えませんが、すぐに課題が終わってしまうことがほとんどなので、もっと考えられる授業が良いと思います。難問...前提知識があっても何度も工夫しなければ必ず解けなく、塾に行ってもそう簡単には解けない問題
- 仲間や先生との仲も深まっている感じが非常に楽しくできているのでいいと思う。

6 朝鑑賞 (1) STEAM教育

STEAM教育

2008年 ジョン・マエダ

「科学者や技術者の思考と**芸術家やデザイナーの思考**を組み合わせることにより真の革新的なアプローチを生じさせる」

数学や科学の分野では過小評価されがちな「説明（**制作**）、批評能力（**鑑賞**）、そして評価（**討論**）する力を高めるための重要」



生徒の数学的、科学的な基礎を育て、技術や工学を応用して、そこに**想像的、創造的なアプローチを加え、現実社会に存在する多様な問題点に取り組み**る

6 朝鑑賞 (2) 概要・目的

概要 朝鑑賞とは、朝の10分間、生徒たちが一枚の絵を見て、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現すること。自分の意見を伝えることや、他者の意見に触れることで多角的な考えができるようになり、他者に寛容になる。教師はファシリテーターとして生徒の発言を繋ぐ。令和5・6年度には、武蔵野美術大学教授・三澤一実先生に来ていただき、朝鑑賞の意義やアドバイスをいただいた。

目的 生徒

- ・ **答えのないものに対し、自分の考えを持てるようになる**
- ・ 自分の考えを他者に伝えられるようになる
- ・ 自分の考えも他者の考えも尊重できるようになる
(自己肯定感、自己有用感、他者有用感)
- ・ 認め合う雰囲気をつくる
- ・ 安心感の中で、自己の能力をどんどん伸ばしていく

目的 教員

- ・ **生徒の発言を大切にできるようになる**
- ・ 生徒の個性に気づけるようになる
- ・ 生徒一人ひとりを見取る目を養う
- ・ 生徒の発言をつなげていけるようになる (ファシリテート力)

6 朝鑑賞 (3) システム

- 朝読書の時間10分間を、週に1回朝鑑賞の時間に
- 担任が行うのではなく、学年職員のローテーション
- 机、椅子を教室の後ろか横に運び前のスペースを空ける
- 令和5年度は、武蔵野美術大学の学生の作品のデータ画像をモニターに映して実施
- 令和6年度は、武蔵野美術大学の学生、越生高校の生徒などの作品を実際に借りて実施

☆朝の10分間を大切に、生徒と教員が共に成長できる時間に

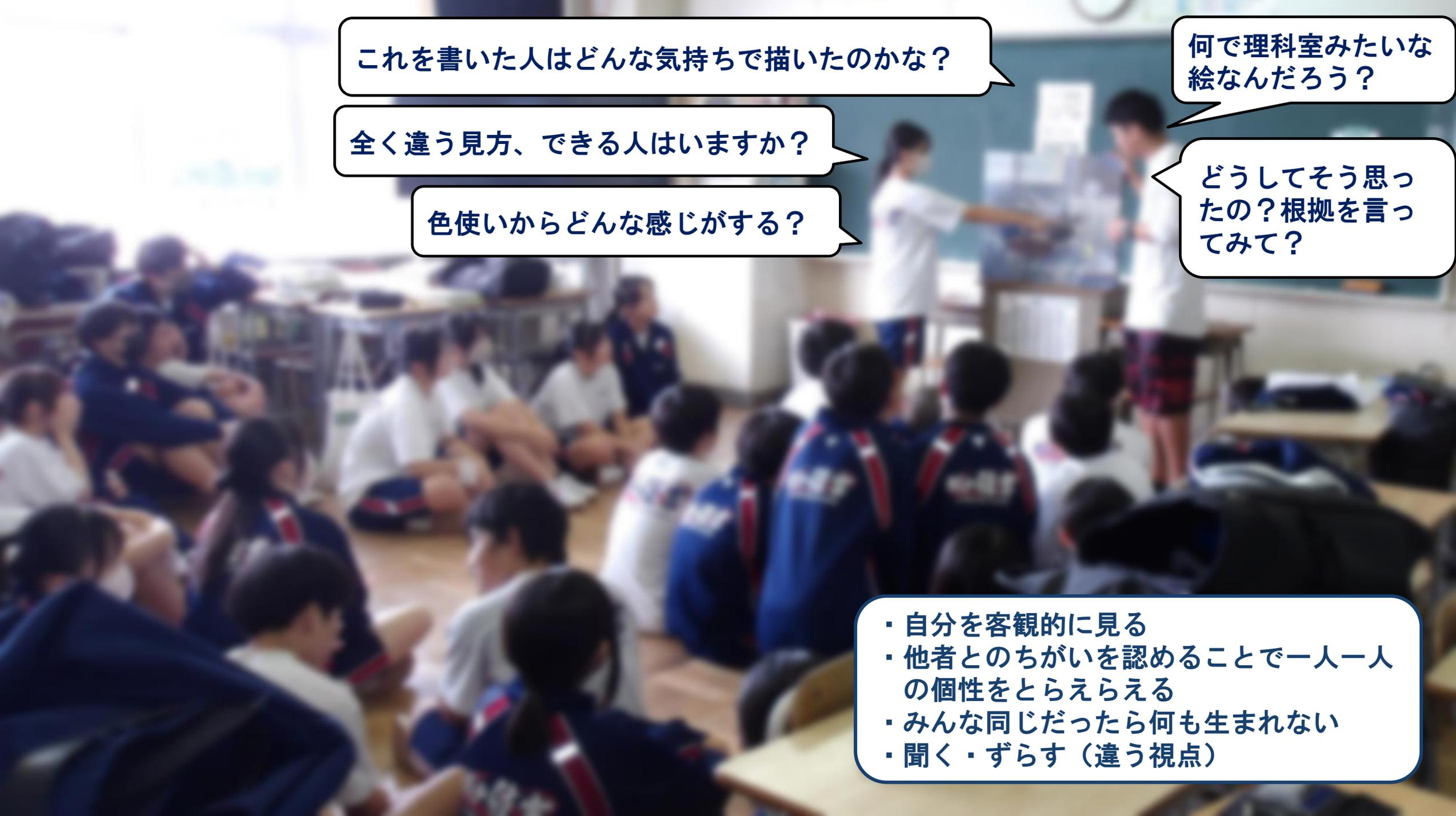
◆朝鑑賞を通して、つけていってほしい力◆

- 答えのないものに対し、自分の考えを持てるようにする。
- 自分の考えを言える、他者に伝えられるようになる。
- 他者の考えを受け入れ、多角的な考え方ができるようになる。
- 自分の考えと他者の考えを取り入れて新しい考えを作り出す。

朝鑑賞 【10月～】

	10/1	10/11	10/17	10/24	10/29	11/22	11/28	12/13	12/17	1/14	1/21	1/27
	1-2 千	1-3 島	1-4 穂	1-5 千	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4
	1-3 岩	1-4 橋	1-5 原	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
	1-4 穂	1-5 小	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 橋
	1-5 原	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 千	1-2 小
	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 穂	1-2 岩	1-3 千
	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 島	1-2 原	1-3 穂	1-4 岩
	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 小	1-2 橋	1-3 島	1-4 原	1-5 穂
	2-4	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 岩	1-2 千	1-3 小	1-4 橋	1-5 島	2-1
	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 原	1-2 穂	1-3 岩	1-4 千	1-5 小	2-1	2-2
	3-2	3-3	3-4	3-5	1-1 橋	1-2 島	1-3 原	1-4 穂	1-5 岩	2-1	2-2	2-3
	3-3	3-4	3-5	1-1 岩	1-2 小	1-3 橋	1-4 島	1-5 原	2-1	2-2	2-3	2-4
	3-4	3-5	1-1 橋	1-2 穂	1-3 千	1-4 小	1-5 橋	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1
	3-5	1-1 千	1-2 島	1-3 原	1-4 岩	1-5 千	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2
	1-1 小	1-2 岩	1-3 小	1-4 島	1-5 穂	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3





これを書いた人はどんな気持ちで描いたのかな？

何で理科室みたいな
絵なんだろう？

全く違う見方、できる人はいますか？

色使いからどんな感じがする？

どうしてそう思ったの？
根拠を言ってみて？

- ・自分を客観的に見る
- ・他者とのちがいを認めることで一人一人の個性をとらえられる
- ・みんな同じだったら何も生まれない
- ・聞く・ずらす（違う視点）



6 朝鑑賞 (4) ルーブリック

学期ごとに、朝鑑賞を通して身につけてほしい力を確認し、自分が今がどの段階にいるのかを振り返るルーブリックを実施

昨年度まで紙で実施→

今年度からフォームで実施

【ルーブリック】朝鑑賞を振り返っての記録

実施日： 各学期の終わり頃

年 組 氏名 _____

◆朝鑑賞を通して、次のような力をつけてほしい。

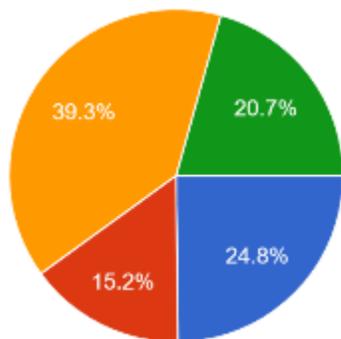
- (1) 答えのないものに対し、自分の考えを持てるようにする
- (2) 自分の考えを言える、他者に伝えられるようになる
- (3) 他者の考えを受け入れ、多角的な考え方ができるようになる
- (4) 自分の考えと他者の考えを取り入れて新しい考えを作り出す

◆今までの<朝鑑賞>を①～③の観点で振り返り、自分の活動に一番近い段階の数字を記入しよう。

観点	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	1学期	2学期	3学期
① 話し合うこと 	友達の考えを聞けた。	自分の感じたことを話せた。	自分と友達の考えたことの違いを感じ取ることができた。	話し合いを通して、お互いの考え方や良さ、特徴などを感ずることができた。	第 段階	第 段階	第 段階
② 自分の考えを深めること 	自分の考えを持つことができた。	自分の考えの理由を説明することができた	友達の意見を受け入れて、自分の考えを見直すことができた。	友達の意見を受け入れて、自分の考えを変化させたり、深めたりすることができた。	第 段階	第 段階	第 段階
③ 学びに向かう力を高めること 	前向きな気持ちで参加できた。	自ら進んで見たり考えたりできた。	友達の考えを受け入れて、いろいろな考えを知ろうとする力がついた。	自分の考えを持ち他者に伝えること、他者の考えを受け入れ自らの考えを深めることを、授業や生活に活かすことができた。	第 段階	第 段階	第 段階

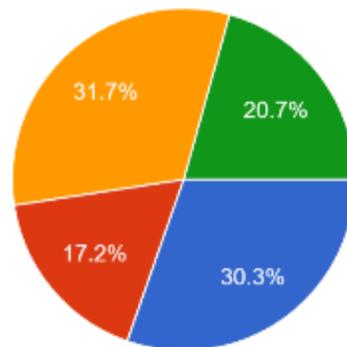
6 朝鑑賞 (4) ルーブリック R6年度1学期・1年生

①話し合うこと



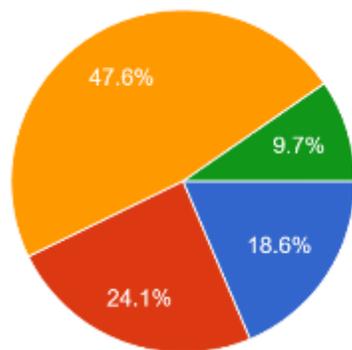
- (第1段階) 友達の考えを聞いた。
- (第2段階) 自分の感じたことを話せた。
- (第3段階) 自分と友達の考えたことの違いを感じ取ることができた。
- (第4段階) 話し合いを通して、お互いの考え方や良さ、特徴などを感じることができた。

②自分の考えを深めること



- (第1段階) 自分の考えを持つことができた。
- (第2段階) 自分の考えの理由を説明することができた。
- (第3段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを見直すことができた。
- (第4段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを変化させたり、深めたりすることができた。

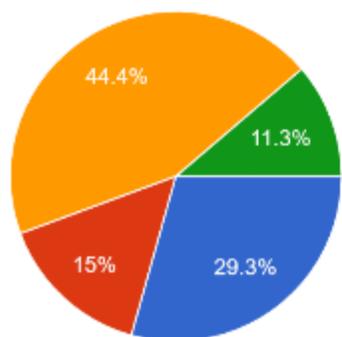
③学びに向かう力を高めること



- (第1段階) 前向きな気持ちで参加できた。
- (第2段階) 自ら進んで見たり考えたりできた。
- (第3段階) 友達の考えを受け入れて、いろいろな考えを知ろうとする力がついた。
- (第4段階) 自分の考えを持ち他者に伝えること、他者の考えを受け入れ自らの考えを深めることを、授業や生活に活...

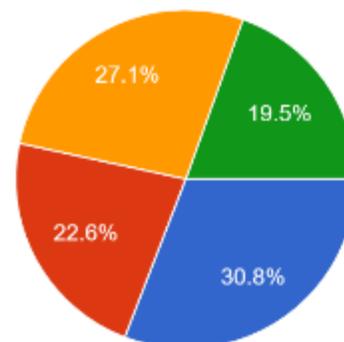
6 朝鑑賞 (4) ルーブリック R6年度1学期・2年生

①話し合うこと



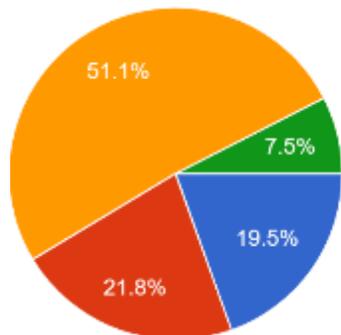
- (第1段階) 友達のことを聞いた。
- (第2段階) 自分の感じたことを話せた。
- (第3段階) 自分と友達のことを考えたことの違いを感じることができた。
- (第4段階) 話し合いを通して、お互いの考え方や良さ、特徴などを感じることができた。

②自分の考えを深めること



- (第1段階) 自分の考えを持つことができた。
- (第2段階) 自分の考えの理由を説明することができた。
- (第3段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを見直すことができた。
- (第4段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを変えさせたり、深めたりすることができた。

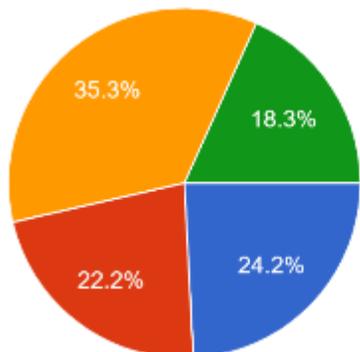
③学びに向かう力を高めること



- (第1段階) 前向きな気持ちで参加できた。
- (第2段階) 自ら進んで見たり考えたりできた。
- (第3段階) 友達の考えを受け入れて、いろいろな考えを知ろうとする力がついた。
- (第4段階) 自分の考えを持ち他者に伝えること、他者の考えを受け入れ自らの考えを深めることを、授業や生活に活...

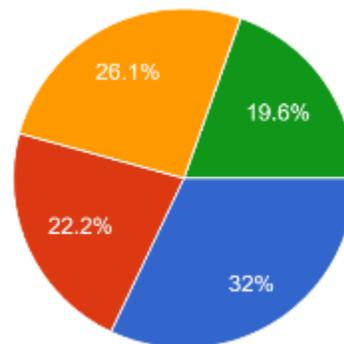
6 朝鑑賞 (4) ルーブリック R6年度1学期・3年生

①話し合うこと



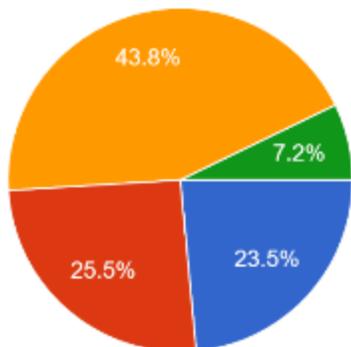
- (第1段階) 友達の考えを聞いた。
- (第2段階) 自分の感じたことを話せた。
- (第3段階) 自分と友達の考えたことの違いを感じ取ることができた。
- (第4段階) 話し合いを通して、お互いの考え方や良さ、特徴などを感じることができた。

②自分の考えを深めること



- (第1段階) 自分の考えを持つことができた。
- (第2段階) 自分の考えの理由を説明することができた。
- (第3段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを見直すことができた。
- (第4段階) 友達の意見を受け入れて、自分の考えを変化させたり、深めたりすることができた。

③学びに向かう力を高めること



- (第1段階) 前向きな気持ちで参加できた。
- (第2段階) 自ら進んで見たり考えたりできた。
- (第3段階) 友達の考えを受け入れて、いろいろな考えを知ろうとする力がついた。
- (第4段階) 自分の考えを持ち他者に伝えること、他者の考えを受け入れ自らの考えを深めることを、授業や生活に活...

**「主体的、対話的で深い学び」
の基盤づくりに生きている**

6 朝鑑賞 (5) 生徒の声

- 正解のない朝鑑賞で自分の頭の想像力が豊かになった。
- 国語で習った見方を変える「ちょっと立ち止まって」を習ったから、味方を変えようと必死に取り組んだ。そして見方が変わって、いろいろな見方ができて考えがどんどん心から出てきた。
- 絵を見て自由に感想を話し合ったり、感じ取ったことを話し合うことは楽しいということを知れてよかったです。他の人の考え方とか見え方を聞くことができても前よりも受け入れられるようになった。
- 今まで自分の考えが普通だと思っていたけれど、自分の考え以外にも沢山面白い意見があるのだと思った。
- 同じものを見ても思うことは人それぞれだということを感じることができました。自分と違う意見の人と出会っても、最初から否定せず理解しようと思えることが大切なのだとしれた。
- それぞれが持つユニークな考えをみんなは笑うけど、そこで面白いと考えその意見も納得できるなと考えればもっと考えを深められると思いました。
- 時々マジでわからない絵があるけどそれを考えるのが楽しいです。
- はじめは〇〇が見えるみたいな誰もが見てもわかるところに目がいつてしまったが、最近はそのことから自分は何を感じたのかを考える事ができるようになった。
- 無意識に自分の意見と友だちの意見の違いを探したりするようになりました。

6 朝鑑賞 (6) 参考動画

朝鑑賞について、知ることができます。是非、ご覧ください。

①朝鑑賞理論編 Ver1.1



👉 朝鑑賞理論編

②朝鑑賞実践編 Ver1.1



👉 朝鑑賞実践編

QRコードを読み込んで、動画をごらんください。

※ネット上への転載は絶対にしないようにお願いします。

7 成果と課題 (1) 検証方法

仮説① 聴き合い、学び合う関係をつくることで、生徒は50分間学び続けることができる

学校生活アンケート①
「授業中、仲間は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？」

仮説② 教師が生徒の学びを見取る目を養うことで、生徒は50分間学び続けることができる

学校生活アンケート②
「授業中、先生は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？」

研究主題 「生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくり」

R6年度県学習状況調査(2)カ 「授業の内容が難しいときは、やらずにあきらめるか、簡単どころだけ勉強する」

7 成果と課題 (2) 仮説1の検証・3年生

①授業中、仲間は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

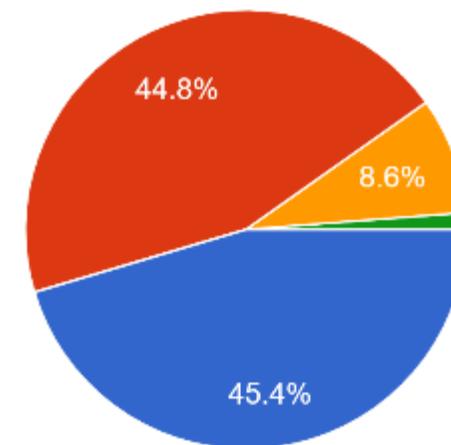
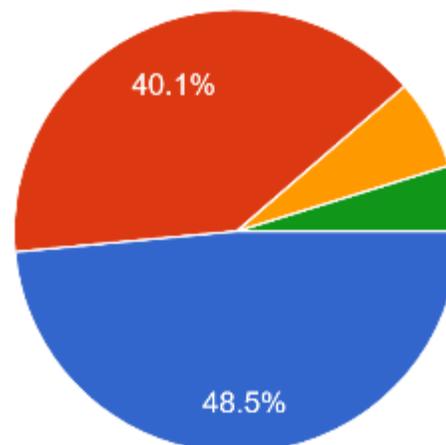
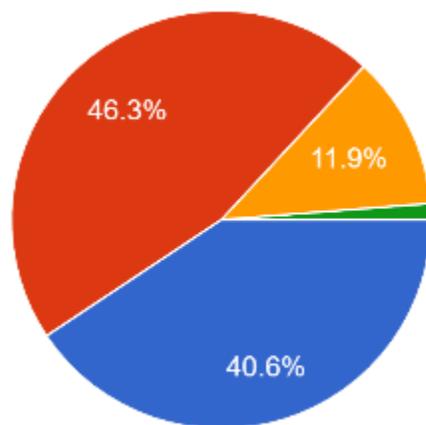
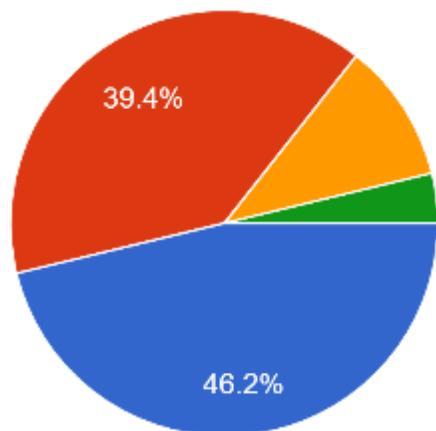
●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

R5年度2年2学期

R5年度2年3学期

R6年度3年1学期

R6年度3年2学期



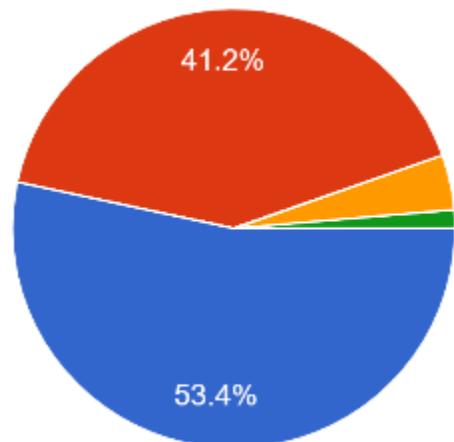
仲間の支援を「●感じる」「●少し感じる」が85.6%から90.2%に上昇している

7 成果と課題 (2) 仮説1の検証・2年生

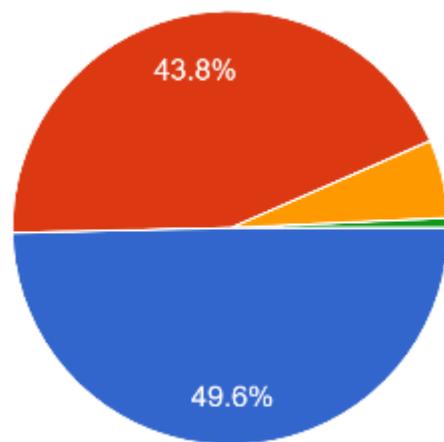
①授業中、仲間は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

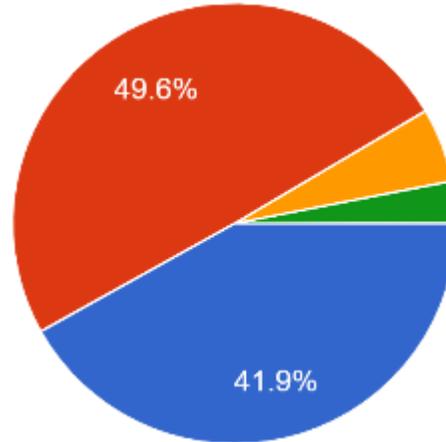
R5年度1年2学期



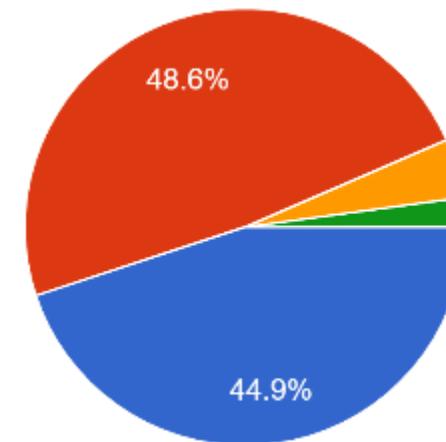
R5年度1年3学期



R6年度2年1学期



R6年度2年2学期



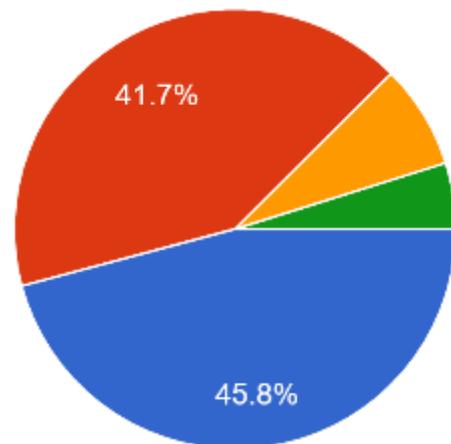
仲間の支援を「●感じる」「●少し感じる」の合計がどの学期も90%をこえている

7 成果と課題 (2) 仮説1の検証・1年生

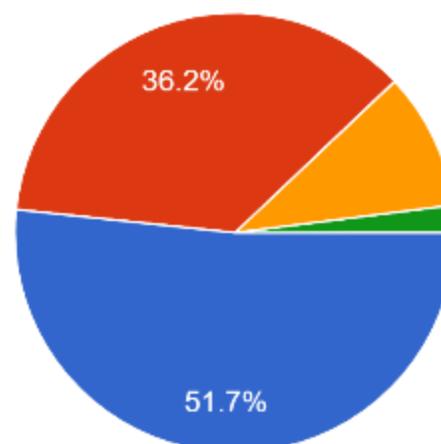
①授業中、仲間は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

R6年度1年1学期



R6年度1年2学期



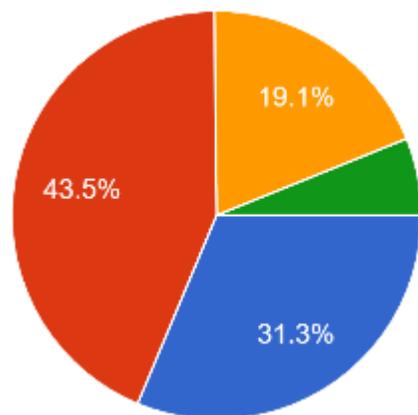
仲間の支援を「●感じる」「●少し感じる」が88%ほどで変わらない

7 成果と課題 (3) 仮説2の検証・3年生

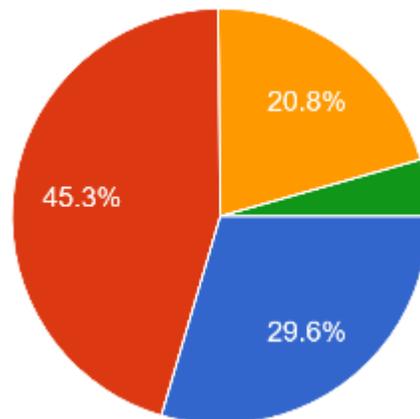
②授業中、先生は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

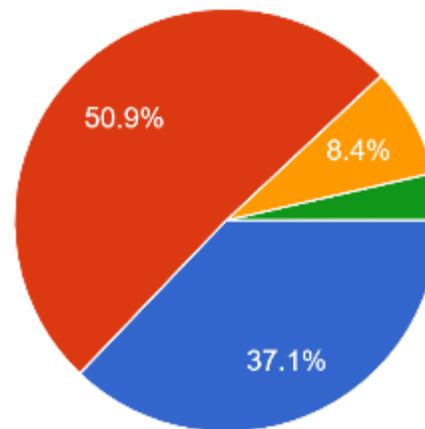
R5年度2年2学期



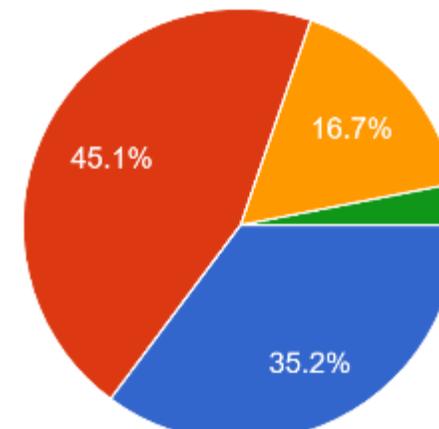
R5年度2年3学期



R6年度3年1学期



R6年度3年2学期



先生の支援を「●感じる」「●少し感じる」の合計が74.8%から80.3%に上昇している

7 成果と課題 (3) 仮説2の検証・2年生

②授業中、先生は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

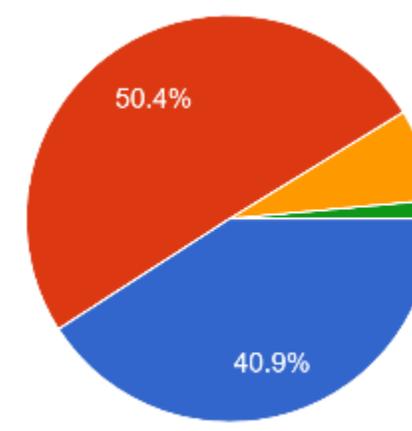
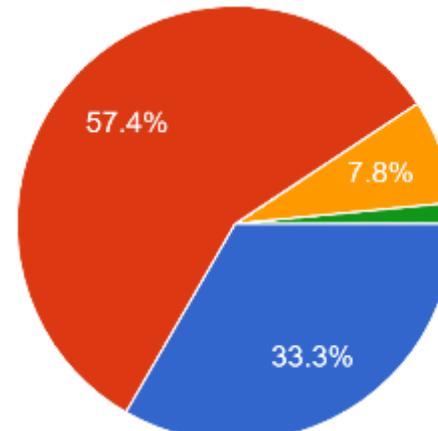
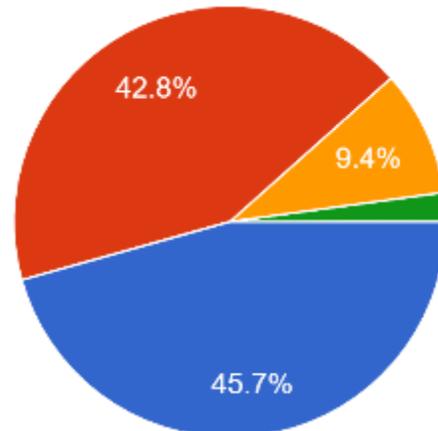
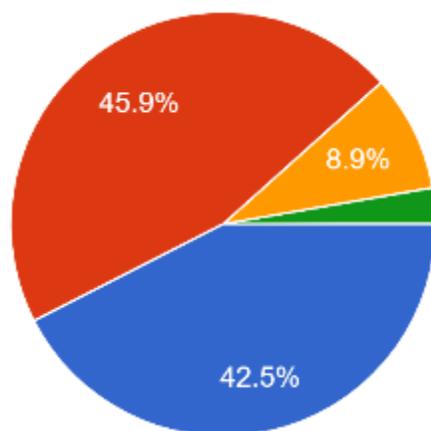
●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

R5年度1年2学期

R5年度1年3学期

R6年度2年1学期

R6年度2年2学期



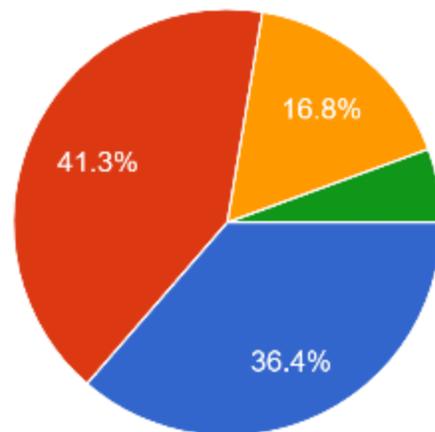
先生の支援を「●感じる」「●少し感じる」の合計が88.4%から91.3%に上昇している

7 成果と課題 (3) 仮説2の検証・1年生

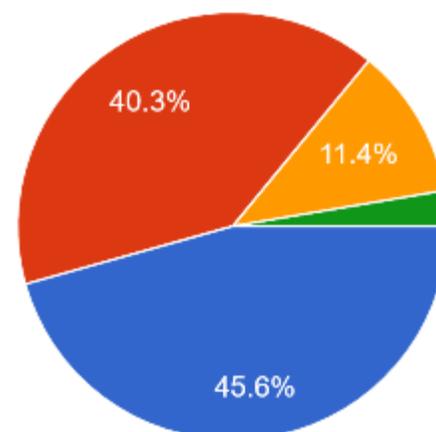
②授業中、先生は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？

●感じる ●少し感じる ●あまり感じない ●感じない

R6年度1年1学期



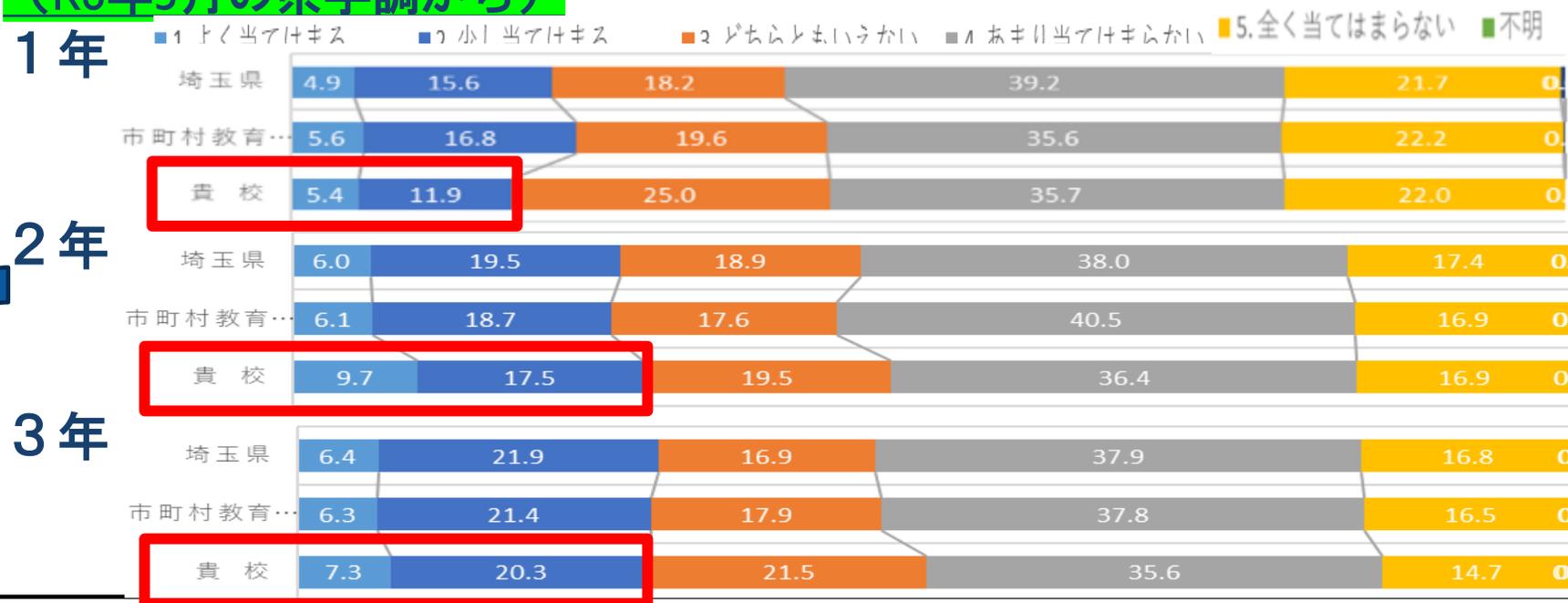
R6年度1年2学期



先生の支援を「●感じる」「●少し感じる」の合計が77.7%から85.9%に上昇している

7 成果と課題 (3) 研究主題の検証

(2) カ 授業の内容が難しいときは、やらずにあきらめるか、簡単なところだけ勉強する
(R6年5月の県学調から)



※昨年度の1・2の合計は、1年生が県と同程度、2年生は県より5.5%高く、3年生は県より14.3%高い。あきらめる生徒が多かった。

「1よく当てはまる」「2少し当てはまる」の合計が、1年生は県・市と比較すると、やらずにあきらめる生徒が少ない。2年生は昨年度のときよりも、やらずにあきらめる生徒が多くなっている。3年生は県と同程度になった。

7 成果と課題 (4) まとめ

<成果>

- 学校生活アンケート①「授業中、仲間は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？」は、「感じる」「少し感じる」の合計が全学年90%ほどである。
 - 学びづくりや朝鑑賞により、聴き合い、学び合う関係をつくることができたので、生徒が仲間は自分を大切にしてくれていると感じるようになったと考えられる(仮説①)
- 学校生活アンケート②「授業中、先生は自分を大切にしてくれていると感じることは多いですか？」は、「感じる」「少し感じる」の合計が全学年80%を超えた。
 - 授業研究や朝鑑賞により、教師の生徒の学びを見取る目が育ちつつあり、生徒の支援が今まで以上にできるようになってきたので、生徒が先生は自分を大切にしてくれていると感じるようになったと考えられる(仮説②)
- 県学調「授業の内容が難しいときは、やらずにあきらめるか、簡単のところだけ勉強する」は、1年生はあきらめない生徒が多く、2・3年生は昨年度よりあきらめる生徒が減少している。
 - 授業研究や学びづくり、朝鑑賞により、生徒が一人残らず50分間学び続ける授業づくりができつつあるので、あきらめずに50分間学び続ける生徒が増えた。

7 成果と課題 (4) まとめ

<成果>

- 生徒と生徒、生徒と教師の人間関係も良くなってきており、生徒指導件数が減ってきている。
- 授業研究で授業を見る機会が増えたので、生徒の学びを見取る目を養えることができ、授業研究と授業改善のいいサイクルが生まれている。
- 多くの研修会に参加したり、自費で本を購入したりと学ぼうとする先生方が多くなった。また、普段の授業づくりについて、職員室で相談をする機会が増えた。

<課題>

- 教師の生徒の学びを見取る目がまだ足りない。その力を醸成するにはまだまだ時間がかかる。
→ 生徒が学んでいるか、学んでいないのかを何をもって判断するのが難しい。
- 課題（森の課題）の設定や誰もが分かる資料作りは、これからも模索していく。